



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 228  
March  
2012

## トピックス

### メンバー国との防災協力推進

インドネシアにおける  
地方行政官防災能力強化プログラム

### ADRC客員研究員 レポート

▶ パットシータ・レルングニルンサティット  
(タイ)

▶ ソドノム・バザラグ  
チャー (モンゴル)

## ●人材育成

### JICA研修総合防災行政

アジア防災センター (ADRC)は、国際協力機構 (JICA) からの受託事業として、2012年1月16日から2月24日にかけて「JICA研修総合防災行政」コースを実施しました。この研修は、各国からの研修員が、日本の中央及び地方レベルでの防災の取り組みを理解することにより、総合的な防災対策に基づいた自国の防災計画の作成及び向上を目的としています。

研修には、ブラジル、中国、フィジー、ハイチ、インドネシア、ジャマイカ、ミャンマー、フィリピン、ソロモン諸島、トンガの10カ国から13名が参加しました。

研修員は、中央・地方レベルでの日本の防災システムを学ぶとともに、水害、地滑り、地震などへの対策、コミュニティ防災、マスメディアと災害、ライフライン防災、事業計画手法 (PDM)、事業継続計画 (BCP) 等について講義を受けました。また、1・17メモリアルウォーク、防災訓練、カエルキャラバンへの参加、2011年の東日本大震災の被災地である仙台市等への視察、ハザードマップ作成体験を通じて、様々な日本の取り組みについて学びました。

研修員は日本の防災への取り組みに高い関心を示し、どの講義、見学に対しても大変熱心に参加し、研修の最後には自国におけるアクションプランを作成しました。

2月24日に無事研修は終了し、研修員は帰国いたしました。

当研修実施にあたり、快く訪問等を受入れていただきました各関係機関の皆様には、厚くお礼申し上げます。今後とも引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



## ●ADRC客員研究員レポート

### パットシータ・レルングニルンサティット (タイ)

パットシータ・レルングニルンサティットと申します。タイの内務省防災局 (DDPM) で専門の科学者として勤務しております。主な業務は、危険の進み方や特性の研究・調査・分析です。また、知識を活かしつつ、地理学・気象学・最新テクノロジーシステム・管理情報システムの知見も取り入れた洪水予測システムから情報を集積する事により、防災・減災の基準を設定にする作業に携わっています。

DDPMは政府機関でも高い位置付けに在ります。2002年、内務省下に設立されました。大惨事になる手前、もしくはその最中での国民の安全確保

## Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.asia  
http://www.adrc.asia

## 続き

に努め、救援活動を遂行する役割を担っています。

DDPMは、災害への備えと予防を強化する活動として、年間の防災・減災計画の作成、緊急時の演習、災害危機管理に基づいたコミュニティづくり、早期警報システムの設置を行っています。

諸外国と同様、気候変動その他が原因となって起こる災害はタイでも増えつつあり、規模も拡大しています。と同時に、タイが国家発展の中で成し遂げた進歩・繁栄は必然的に、この上なく複雑さを増したあらゆる災害に於いて、望まざる影響をもたらしたのです。つまり、組織的に管理する事が大変重要であり、全ての政策やプランと調和が取れていなければなりません。

2012年1～4月のADRCでの研修期間中は、日本の災害予防及び早期警報システムについて学びます。個人的に、日本は革新的な早期警報システムに於いて、世界の先端を行っていると考えています。タイのような発展途上国と日本のような先進国の防災・早期警報システムの比較は興味深い事です。災害対策の知識が未熟なタイにとって、この研究報告は、包括的かつ信頼出来る情報源となり、役立つ事でしょう。ここでの研修で学ぶ事は、将来、タイの防災技術の発展にきっと生かされるはずです。

タイでも活用可能な災害対応の知識と経験を得て、自国に合った形で持ち帰りたいと思っています。ADRCスタッフとの論議や意見交換を通じて、DDPMとADRC間の協力をより深められます事を、心より願っております。



## ソドノム・バザラグチャー（モンゴル）

モンゴル国家緊急事態省・災害研究所（DRI）の消防研究センター技官を務めておりますソドノム・バザラグチャーと申します。私は2000年にモンゴル科学技術大学の学士号を、2009年に同大学の修士号を取得致しました。

DRI勤務7年目で、現在は研究員、技師の業務に従事しております。モンゴルはアジア大陸の中央に位置し、中国とロシアに挟まれ、西はカザフスタンと国境を接している、陸地に囲まれた国です。国土は160万平方キロ、人口は270万人です。世界の発展途上国の一つに数えられています。

首都はウランバートルで、政治は議会制民主主義です。災害の増加を受け、来たる自然災害や人災が及ぼす生命、財産へのダメージを最小限にするべく、政府は災害管理体制の強化に乗り出しました。その成果として、2003年5月20日、災害管理法が議会を通過しました。NEMAは将来像として、優秀な人材、最新の技術・設備を、世界的なレベルで災害管理に役立てる事を目指しています。NEMAの使命は、災害管理活動を通して、危機や脆弱性の削減に努める事です。緊急管理担当大臣は、州レベルでの災害管理活動を統括しています。団体や事業のトップは、自らが代表となっている部署や組織で、災害管理活動をまとめ、管理します。緊急管理（NEMA）の責任者たる州の行政組織は、災害管理政策・法令の実行担当であり、国家規模の災害管理活動を展



**続き**

開する組織として、専門的な管理を行うのです。

最後になりましたが、この研修プログラムの機会を与えてくださった日本政府とADRC、スタッフの皆様にお礼申し上げます。モンゴル政府の良きパートナーでいてくださっている事、私に日本でこのような素晴らしい経験をさせてくださっている事を感謝致します。

**問い合わせ・配信申し込み**

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は  
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。